

指定校番号	30049	学級活動	生徒会活動	<input type="radio"/> 学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-------	----------------------------	------

平成30年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立高西中学校	校長	利田 亨次	生徒指導主事	土生 和之
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『自主的な活動（体育大会）』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	3	「自主性・主体性」	1	「判断力・表現力」	2

取組のねらい 『キーワード：リーダー育成』

- (1) 生徒の自主性を養い、多くの人の前でも堂々とした態度で臨むことができる。
- (2) 異年齢集団のなかで、相手に合わせたコミュニケーションをとることができる。

取組の具体的内容 『キーワード：共通認識』

- (1) 縦割にした取組のねらいに対する教員の意識や指導方法をそろえる。
- (2) 教員の役割分担を明確にする。
- (3) 担当教員と各リーダーとの打ち合わせや準備をていねいに行う。
- (4) その日ごとに反省会を行い、改善点や次の練習内容を確認する。
- (5) 生徒を中心にさせてやらせる内容を年々増やしていく。

取組の課題・創意工夫 『キーワード：生徒が主役』

- (1) リーダーに慣れていない生徒もいるが、教員はすぐに出て行かない。
- (2) 課題や対策を自分たちで考え、生徒の力でやりきらせる。
- (3) 肯定的な評価を中心に行い、全体の前でリーダーを褒める。
- (4) 案を検討する校内の実行委員会の段階から、生徒代表が参加できるとよい。
- (5) 事前のリーダー会をていねいに行い、大きな声を出すなどの心構えや練習をしておく。



生徒会による全体集会の様子



リーダーによる縦割チームの反省会

取組の成果（効果） 『キーワード：笑顔』

- (1) 練習の雰囲気明るく、とても楽しそうである。（共感的な人間関係）
- (2) 自分たちで練習内容を考え、工夫しながらやり切った。（自己決定）
- (3) リーダーとしての全体を引っ張って行くことで、周りの生徒から認められる。（自己存在感）
- (4) 競技中も、自然に他学年を応援するなどの一体感が生まれてきた。
- (5) リーダーがひとつの手本となり、次の年へ繋がっていくようになってきた。
- (6) 行事後のアンケートで、満足度は92%と高かった。



教室に別れてダンスリーダーによる練習



リーダーの指示による縦割り種目の練習



異年齢がひとつになって行っている競技



他学年でもみんなで応援

今後の展開 『キーワード：繋ぐ』

- (1) いろいろな行事のなかへ、実行委員（リーダー）を中心とした動きをする場面をつくっていく。
- (2) 他の活動のなかにも、縦割を取り入れ、異年齢の交流の場を増やしていく。
- (3) 縦割り種目以外の競技についても、生徒の意見を取り入れ、リーダーを育成していく。

他教科との関わり 『キーワード：主体性』

- (1) 学習においても、課題に対して解決策を生徒同士で議論して進めていく。
- (2) クラスに温かい雰囲気をつくり、自分の意見を堂々と言え、他の人を尊重できる。
- (3) 上級生が、下級生に教える場面ができるとうい。